

第11回「ミニ観察会」実施概要

【実施日時】令和4年（2022）10月8日（土）19:30～10月9日（日）5:30

【実施場所】有峰ビジターセンター北側

【天候】曇→晴れ

【気温】16.5℃→9.5℃

【月齢】12.2（中潮）→13.2（中潮）

有峰ハウスに宿泊した3家族7人のご依頼で「ミニ観察会」を実施しました。参加者の内訳は、大人5人子供2人でした。昨日から降り続いていた雨も16時過ぎに上がり、18:50ライトオン。予定通りに19:30から「ミニ観察会」を開催しました。開催に先立ち、マスク着用、検温やアルコール消毒などコロナ対策を励行しながら、21:15まで実施しました。その後、翌朝5:30までライトトラップを継続しました。

今回のミニ観察会参加への目的は、ライトトラップに飛来する昆虫類、特に、大型蛾類ヤマユガ科の仲間を観察することです。最初に、霜鳥主任指導員より有峰ダムや有峰の歴史、自然（動物や昆虫）を含めた有峰森林文化村の概要と灯火採集法について説明を行いました。20時10分から北口に移動し、ミニ観察会をスタートしました。20:15待望のクスサン♀が飛来、「ワッ」と歓声が上がりました。毒がないことを教えると子供達は手に乗せてその雄姿を観察したり、持参した野帳にスケッチしたりと大忙しでした。白幕に止まらせたクスサンの♀個体は、体を振るわせながら、産卵を始めました。産卵中のクスサンの行動に子供達は興味津々で、観察していました。開始時の気温は既に11℃を下回り、20時過ぎ月が雲間から出て夜空を照らし始めました。20:45待望のヤマユガ科ヒメヤマユガ♂が飛来しました。参加者全員でその雄姿を観察しました。ヤマユガ科以外には、ウスジロエダシャク、ガガンボ類やヒメバチ類が飛来しました。21時になっても新たな昆虫類（蛾類）の飛来がなかったので、21時15分にミニ観察会を終了しました。

気温と月齢に伴う輝度の関係か、翌朝5:30までライトトラップを継続しましたが、新たな昆虫類の飛来はありませんでした。

灯火採集の魅力・醍醐味は、何が飛来するか分からない驚きや期待した昆虫の仲間が飛来した時の楽しみと嬉しさに加え、昆虫を通じて有峰の生物多様性を身近に体感・観察・学習できることです。「ミニ観察会」に参加して、有峰の自然、昆虫類に接してみませんか？ 今後もこの企画に参加戴くことを期待しています。

【参考文献】

- 1) 福田晴夫他：昆虫の図鑑 採集と標本の作り方/南方新社
- 2) 富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊（昭和56年7月）
- 3) 岸田泰則著：日本蛾類標準図鑑ⅠⅡ/学研
- 4) 井上 寛他：原色昆虫大図鑑（蛾・蝶編）/北隆館
- 5) 川合 禎次、谷田 一三共編：日本産水生昆虫 科・属・種への検索
- 6) 養老猛司他監修：ぼくらの昆虫採集/株式会社デコ

表1 飛来した昆虫類一覧

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
ヤママユ	クスサン	♀1	20:15
	ヒメヤママユ	♂1	20:45
シャクガ	ウスジロエダシャク	♂1	20:30
ガガンボ	ガガンボ類(未同定)	♂1 ♀1	20:40~21:10
ヒメバチ	ヒメバチ類	羽蟻♂10 ♀6	20:50



ヤママユの一生について説明中の霜鳥主任指導員



ライトトラップ観察の様子



開始直後に出てきた満月と



飛来昆虫観察中の参加者



クスサンを手に観察中の参加者



ヒメヤママユをスケッチする参加者